



2020年8月7日

各 位

会社名 蛇の目ミシン工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 真
 (コード: 6445 東証第一部)
 問合せ先 執行役員経理部長 小林 裕幸
 (TEL 042-661-3071)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期通期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	39,000	2,000	1,800	1,200	62円08銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	35,521	1,158	1,049	424	21円94銭

2. 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	15.00	15.00
当期実績	—				
(ご参考) 前年実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	15.00	15.00

3. 修正の理由

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難であることから未定としておりました。新型コロナウイルス感染症の今後の情勢については依然予測不能ではありますが、第1四半期の業況及び現時点において入手できる情報等を用い、予想数値を算定いたしましたので公表いたします。

家庭用機器事業におきましては、手作りマスクの浸透や巣ごもり需要がミシン販売の契機となり、国内外で販売台数を大きく伸ばしております。このミシン販売の広がりについては、今後の推移を見極める必要もありますが、当期中、この傾向は一定程度継続するものと見込んでおります。

一方、産業機器事業におきましては、米中貿易摩擦問題と新型コロナウイルス感染症拡大により、設備投資を手控える動きが続き、受注は大幅に減少しております。先行きについては、新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが見えない中、依然として懸念材料である通商問題などを踏まえると、現下の厳しい市場環境は長引くものと予想されます。

このような状況を踏まえ、売上高は39,000百万円（前期比3,478百万円増）、営業利益は2,000百万円（前期比841百万円増）、経常利益は1,800百万円（前期比750百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,200百万円（前期比775百万円増）を見込んでおります。また、配当予想につきましては、連結業績予想を踏まえ、1株あたり15円とします。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、今後様々な要因によって、実際の実績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上